

ひ たち海浜公園は鹿島灘に面した砂丘上に広がる国営公園です。この地区は、昭和13年に旧日本陸軍によって水戸東飛行場が建設された場所でした。終戦後は米軍に接収され、昭和48年に日本に返還されてからは、長期間立ち入り禁止となっていたため、豊かな自然が残されてきました。昭和52年に国土庁の「首都圏整備計画」において、北関東総合開発の一環となる水戸対地射撃場跡地の利用の一部として公園緑地の整備が記され、平成3年から「ひたち海浜公園」として一般公開されています。



「ローズガーデン」では、初夏と秋に127品種、4000株のバラが開花。バラは茨城県の県花でもある

向かって、環境に適応して植生が変化する様子が見られます。また、この辺りの海は寒流と暖流のぶつかる場所で、陸上でも南方系と北方系の多くの動植物が生育・生息し、貴重な生態系が形成されているのも特徴のひとつです。常陸野の景観を代表する松林に広がるスイセン、チューリップ……、空、海をバックに展開する「みはらしの丘」のネモフィラ、コスモス、コキア……、海浜公園ならではの景観を創り出す花々が四季を通じて満開に。自然浴を楽しむ人々の目を楽しませてくれます。



上 / 海に面した砂丘エリアには、ガラスハウスがある。ガラス越しに太平洋が広がり、開放感抜群。中では、アートの屋内展示などを行っている 下右 / 春の訪れとともに、183品種、26万本のチューリップが開く「チューリップガーデン」 下左 / 秋篠宮妃紀子殿下にちなんで名付けられたスイセン、「プリンセス・キコ」は、4月上旬に見ごろを迎える



四季の花々が 香る丘

国営ひたち海浜公園
茨城県ひたちなか市

春 Spring